

施策23 豊かな地域資源を活用した観光の振興

作成日：平成22年6月30日 主管課名： 商工観光部商工観光物産課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	施策の21年度目標達成度とその要因	施策の総評価 (18年度から21年度までの達成状況)
23 豊かな地域資源を活用した観光の振興	商工観光物産課	観光客 観光関連業者	観光客 観光関連業者 観光物産協会 会員数	大船渡の魅力(景観・味覚等)を知ってもらい、売上を増やしてもらう	観光客入込数	1,095	1,052	1,022	1,013	千人	成 1,131	成 1,131	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査による推計値(暦年)	観光客入込数は、長引く景気の低迷などの影響により前年比で1.0%減少している。21年度の目標値1,176千人に対して、実績値は1,013千人だった。主な観光資源(素材)としては、碓石海岸、五葉山が中心となる。またイベントでは夏まつり、碓石海岸観光まつり、産業まつり、浜一番まつり、長崎海岸ウニ・アワビまつりなどがあるが、各イベントの観覧者が例年、全体の入込の3割程度となっている。他に夏季には吉浜・綾里・越喜来浪板の各海水浴場、施設として五葉温泉、夏虫のお湯っこ、椿館、フレアイランドなどのほか、観光バスの立ち寄り場所として、椿館、おさかなセンター、道の駅三陸ふさと物産センターなどが中心となっている。観光消費額は、H20から県の動態調査がなくなったため市単独での調査方法を今後検討していかなければならない。宿泊者数は、21年度目標値305千人に対し、実績値は280千人だった。20年度は2度の大地震があったものの「海フェスタ」開催効果により宿泊者数の減少が最小限に抑えられた。21年度は全国規模のイベントがなかったため目標値には達しなかったが前年を8千人上回った。	【総括追記】 観光客入込数は、14年度から徐々に減少する傾向で推移している。 観光誘客及び観光消費の増大を図るため、碓石海岸観光まつり、秋の碓石海岸おもてなし市、大船渡市産業まつりなどのイベントを企画・実施した。 碓石海岸景勝地への誘致を目的として、平成19年度から行っている秋のまつりを趣向を凝らし開催している。 観光客誘致のため様々なイベントを展開してきたが、イベント開催時における集客はそこそこあるものの、以後の安定した誘客につながっているか否かの判断は難しい。 しかしながら、20年度「海フェスタ岩手」が当市を中心に開催され、訪れた観光客が570千人だったことを考慮すると市内経済には多大な波及効果があったと思われることから、引き続き魅力ある事業の展開、観光客のニーズに応え得る体験型観光の推進や地域資源を有効に活用した特産品の掘り起こし・開発に力を注ぐとともに、成果を上げていくことを目標に進めていく必要がある。
					観光消費額	4,139	3,273	6,409	前年度: 6,409 百万円	目 増加	目 増加	業務取得	商工観光物産課	・県観光協会が実施している碓石海岸での観光消費額調査 県が行う動態調査から碓石海岸が外れたため、消費額調査は今後の課題。	観光消費額は、H20から県の動態調査がなくなったため市単独での調査方法を今後検討していかなければならない。宿泊者数は、21年度目標値305千人に対し、実績値は280千人だった。20年度は2度の大地震があったものの「海フェスタ」開催効果により宿泊者数の減少が最小限に抑えられた。21年度は全国規模のイベントがなかったため目標値には達しなかったが前年を8千人上回った。		
					宿泊者数	293	289	272	280	千人	成 300	成 300	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査による推計値(暦年)	21年度の予算編成方針では、従来の予算の水準を維持しながら、成果の向上を図る施策として位置づけられており、秋の碓石海岸おもてなし市など従来のイベントをアレンジした形で実施したが、景気の低迷なども影響し強烈なインパクトを与えるに至らなかったと思われる。 当市の主要観光施設である碓石海岸レストハウスの改修工事を18年度から実施し、建物本体工事は20年度、浄化槽設置工事は21年度に完了した。よって今後の事業収益及び利用客の増加に期待が持てる。 体験型観光については、それを組み入れたツアーが着実に成果を上げつつあり、今後とも推進していく必要がある。 当市の観光素材として、穴通磯をくぐり抜ける小型観光遊覧船に艇入れを図る必要がある。	
施策の振り返り(施策の21年度方針の達成状況)																	

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	実績値 (H21)	単位	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対するこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 観光客の誘致と観光宣伝の充実	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設	観光客 観光関連業者 観光物産協会 会員数	大船渡市を訪れてもらう(訪れたいと思ってもらい、再び訪れてもらう) 魅力がPRされ、認知度が高まる	観光客入込数	1,095	1,052	1,022	1,013	千人	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査(暦年)	観光客入込数は、14年度から徐々に減少する傾向で推移している。観光誘客及び観光消費の増大を図るため、碓石海岸観光まつり、秋の碓石海岸おもてなし市、大船渡市産業まつりなどのイベントを企画・実施した。 碓石海岸景勝地への誘致を目的として、平成19年度から行っている秋のまつりを趣向を凝らし開催している。 市及び観光物産協会のホームページアクセス数は、18年度116,082件、19年度165,836件、20年度158,915件、21年度175,394件であった。20年度と比較して16,479件増加した。 桜やツツジ、シャクナゲ等タイムリーな情報を提供し、また、体験観光等の事業内容の紹介等に努めた結果、年々アクセス件数が増加してきている。	主な事務事業は以下のとおり ・大船渡ブランド化推進事業 食による観光誘客を図るため、豪華弁当「三陸黄金海鮮重」並びに「椿寿弁当」をイベント等で販売した。 ・まつり開催運営支援事業 碓石海岸観光まつり実行委員会では、秋の碓石海岸もPRするため、碓石海岸おもてなし市を10月10日に開催した。 産業まつりと同時開催だった大船渡市秋刀魚まつりは、9月20日に単独開催した。
					市のホームページ「観光」「宿泊」「イベントスケジュール」及び観光物産協会ホームページアクセス数	116,082	165,836	158,915	175,394	件	業務取得	商工観光物産課	市のアクセスカウンタの確認及び大船渡市観光物産協会からの報告数		
2 観光資源の発掘と連携	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設	観光客 観光関連業者 観光物産協会 会員数	体験してもらい、宿泊してもらい	体験型観光利用者数	40	31	52	69	人	業務取得	商工観光物産課	三陸・夢体験ツアー及びグリーン・ツーリズムモニターツアー等の参加者数	体験型観光利用者数は18年度40人、19年度31人と減少していたが、教育旅行の受け入れ農家が増加し、20年5月に仙台市立愛宕中学校から52名、21年5月にも同中学校の69名の生徒を受け入れた。 また、体験観光を普及させるため、ホームページへの情報掲載等において周知に努めた。	主な事務事業は以下のとおり ・観光施設整備事業 碓石海岸レストハウスの浄化槽改修、碓石海岸の遊歩道整備や吉浜海水浴場等の監視塔の設置を行った。 ほかに関連事務事業として、グリーンツーリズム推進事業を実施している。
					宿泊者数	293	289	272	280	千人	業務取得	商工観光物産課	観光レクリエーション客等入込調査(暦年)	宿泊者数は、18年度293千人、19年度289千人、20年度272千人、21年度280千人で、前年と比較し8千人増加した。	
					観光メニュー・ルート数	20	40	40	40	メニュー	業務取得	商工観光物産課	三陸・夢体験ツアー及びグリーン・ツーリズムモニターツアーの実施ルート数、民宿等が行っている体験メニュー数を合算	14年度から取り組んできた相模原市の夢体験ツアーは、18年度を持って旅行者によるメニュー化が図られた。そのツアーにより19年度は31名、20年度は28名、21年度は38名の参加があった。	
3 特産品の開発と販売促進	商工観光物産課	観光客 観光関連業者 観光施設 特産品	観光客 観光関連業者 観光物産協会 会員数	食事をしたりおみやげを買ったりしてもらい	椿寿料理提供店舗数	18	17	17	17	店舗	業務取得	商工観光物産課	おふなと椿寿料理普及事業実施協力店(宿)	椿寿料理提供店舗数は、32店舗の提供から始まったが、地元の食材を常に確保しておかなければならないことや注文件数が少ないことなどを理由に、提供できる件数が減少した。 椿寿料理は常に提供できる状態ではなく、予約注文時のみ対応する店が多くなってきた。 観光物産協会ホームページのショッピング販売件数は、18年度58件、19年度60件、20年度51件、21年度99件と概ね横ばいの状態推移している。 観光消費額は、18年度2,087百万円、19年度(2,087)百万円、20年度以降は調査検討中。	主な事務事業は以下のとおり ・物産販路拡大事業 首都圏等への物産販路拡大のため、銀河連邦共和国である相模原市のさくらまつり、長野県佐久市の農業まつり等に参加するとともに、いわて銀河プラザ等での物産販売と観光宣伝等に努めた。 そのほか関連事務事業として、大船渡ブランド化推進事業のなかで「おふなと椿寿料理」普及事業を実施している。
					観光物産協会ホームページのショッピング販売件数	58	60	51	99	件	業務取得	商工観光物産課	大船渡市観光物産協会からの報告数(平成17年度開設)		
					観光消費額(上段:おみやげ代、下段:その他飲食代)	1,003 1,084	813 842	1,007 1,028	前年度: 1,007 1,028 百万円	業務取得	商工観光物産課	・県観光協会が実施している碓石海岸での観光消費額調査 平成20年度から市独自のアンケート調査の実施。			